

中野市生涯学習基本構想「総論」草案

1 第2次中野市生涯学習基本構想の総括等(案)について

教育基本法第3条では、「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない」と規定され、「生涯学習の理念」が明確化されています。

生涯学習とは、学校での教育活動はもちろん、地域の公民館などでの学習、スポーツ、レクリエーションや文化芸術活動など、子どもから高齢者まで、趣味や教養、生きがい、職業上やキャリアアップのための学習など、自己の充実や生活の向上のために、自分に合った手段と方法を自ら選んで、生涯にわたってあらゆる機会に行われる学習のことです。

市では、平成29(2017)年3月に策定した「第2次中野市生涯学習基本構想」(以下「第2次構想」という。)のもと、生涯学習推進関連事業の各種施策が展開されてきていますし、してきました。

ここでは、第2次構想における推進関連事業を主管する各課の総括をもとにし、第2次構想の基本施策ごとの課題の整理を行うものとします。

(1) あらゆる学習機能の活性化

各世代に対応する学習機能は、おおむね活性化が図られてきています。今後は、各種学習ニーズに対応した方策を推進していく必要があります。

また、家庭教育、学校教育、社会教育など分野ごとの学習機能については、行政における各種施策等を中心に、構想の実現に向けた取組が行われてきています。

さらに、発展的な方策を第3次中野市総合計画等との整合性を取図りながら、生涯学習推進の視点から進めていく必要があります。

社会情勢	○人口減少・少子高齢化の進行 ○VUCA※の時代
国・県の動向	○大学等におけるリカレント教育の推進 ○新しい価値や時代を創造する資質能力の育成
市の取組状況	○ ○

市民アンケート	○
	○
推進会議等の意見	○
	○

※変動性（Volatility）、不確実性（Uncertainty）、複雑性（Complexity）、曖昧性（Ambiguity）の頭文字。不安定で不確実で複雑で曖昧な状況のこと。

(2) 多様な学習活動の推進

「人生 100 年時代」、「超スマート社会（Society5.0）」に向けて社会が大きな転換点を迎える中にあって、生涯学習の重要性は一層高まっています。

また、デジタル技術の進展に加え、様々な分野におけるグローバル化や社会の多様ななどの現代的課題に対する学びの意欲、課題解決の必要性が増しています。

一人一人が自ら考え動くことにこそ意味を見出し、環境に流されたり諦めたりすることなく、学び続けることがより大切です。

様々な学びの場を提供していくことは、市民の多様な学習活動の推進につながっていくものと考えます。

ここでも、~~市が、現在策定している~~第3次中野市総合計画をはじめとする各種計画と整合性を図りながら、様々な学習活動を実施、支援していく必要があります。

社会情勢	○価値観・ライフスタイルの多様化 ○デジタルトランスフォーメーション（DX）の進展
国・県の動向	○個人と社会のウェルビーイング※の実現 ○Society5.0※の実現
市の取組状況	○ ○
市民アンケート	○ ○
推進会議等の意見	○ ○

※ウェルビーイングは、身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいいます。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含み、また、個人のみならず、個人を取り巻く場や地域、社会が持続的に良い状態であることを含む包括的な概念です。

※Society5.0 は、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシ

システムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。狩猟社会（Society1.0）、農耕社会（Society2.0）、工業社会（Society3.0）、情報社会（Society4.0）に続く新たな社会として、第5期科学技術基本計画において提唱。

(3) 生涯学習推進体制の整備

~~学習情報発信~~生涯学習推進体制等は、市民・団体・サークル、社会教育委員、生涯学習推進会議と市との連携、各種学習施設の機能強化等により、進められていきます。

今後も、生涯学習情報の提供、地域課題の学習を通じた解決、学んだことを活生かすことができる社会の実現のため、合理的な体制整備を進めていく必要があります。

ここでは、中野市公共施設等総合管理計画との整合性を図りながら、学習拠点となる公共施設の管理・運営について、さらなる充実、利便性の確保向上などを図っていく必要があります。

社会情勢	○社会インフラの老朽化 ○地域コミュニティの担い手不足
国・県の動向	○持続可能な社会の創り手の育成 ○共学共創による地域づくり
市の取組状況	○ ○
市民アンケート	○ ○
推進会議等の意見	○ ○

2 アンケート調査の結果

市民の学習活動の状況や意見を把握するため、市民（18歳以上の市民2,000人）と市内社会教育施設等利用団体（249団体）を対象に、生涯学習に関するアンケートを実施しました。

(1) 市民アンケート調査

調査対象	18歳以上の市民から2,000人を無作為抽出
調査方法	郵送により配布し、郵送又はweb回答により回収
調査期間	令和8年7月 日～8月 日

回収数／回収率	票（うち web 回答 票）／ %
---------	-------------------

(2) 団体アンケート調査

調査対象	市内社会教育施設等利用団体 249 団体
調査方法	各社会教育施設窓口に設置し、持参又は web 回答により回収
調査期間	令和 8 年 4 月 20 日～5 月 29 日
回収数／回収率	138 票（うち web 回答 16 票）／55.4%

（以下、アンケート調査結果の一部を掲載）

3 構想策定の趣旨

中野市生涯学習基本構想は、教育基本法第 3 条に規定されている生涯学習の理念を実現するために、市の生涯学習を推進する総合的な指針となる構想です。

平成 17（2005）年の新市発足に伴い、旧市村での生涯学習基本構想の成果をふまえ、新しい中野市としての構想が必要となりました。そこで、市では平成 20（2008）年 3 月に「第 1 次中野市生涯学習基本構想」（以下「第 1 次構想」）を、平成 29（2017）年 3 月に「第 2 次中野市生涯学習基本構想」（以下「第 2 次構想」）を策定し、「緑豊かなまちでの学びを地域にいかす生涯学習のまちをめざして」を目標に掲げ、生涯学習の推進を図ってきました。

令和 8 年度末の第 2 次構想の満了を控え、令和 8（2026）年 2 月に上位計画の「第 3 次中野市総合計画」が策定されたことと、令和 8（2026）年 3 月に「第 3 次中野市教育大綱」が策定されたことから、これらの計画を勘案するとともに、第 2 次構想の総括を行い、一層の生涯学習推進を図るため、第 2 次構想を引継ぎ、成果と課題や社会情勢の変化をふまえ、今後 8 年間の市の生涯学習の推進に関する基本的な方向性を示す指針として「第 3 次中野市生涯学習基本構想」（以下「本構想」という。）を策定します。

4 構想の性格

この構想は、第 3 次中野市総合計画の基本目標「目指すべき将来の姿」である「緑豊かなふるさと 文化が香る元気なまち」を基調とし、基本政策の一つである「ふるさとを学び育つ文化のまちづくり」を指針として策定されています。

5 構想の期間

~~その~~本構想の期間は、令和9（2027）年度から令和16（2034）年度までの8年間とします。

なお、今後の社会情勢の変化等により新たに構想に盛り込むべき事由が生じた場合は、必要に応じて構想を見直します。

6 基本方針

(1) 基本的な考え方

~~第3次中野市生涯学習基本構想~~は、生涯のあらゆる機会、あらゆる場所において行われる学習であることから、**全て**の行政分野を生涯学習の視点から見ていくものとします。その上で生涯学習社会の実現のために必要な事項について、生涯学習のまちづくりを総合的に推進する施策を展開していくこととします。

また、市民の生涯学習に対する意識の高揚を図るため、啓発活動を積極的に推進するほか、あらゆる機会をとらえて市民の意見を吸い上げ、構想に反映していくものとします。

(2) 構想の目標

基本構想が目指す生涯学習の目標を以下のとおりとします。

（参考）第2次構想の目標

緑豊かなまちでの学びを地域に**活生**かす生涯学習のまちをめざして
～学びと夢でつながる心、絆づくり～

本構想を推進することで、市民の誰もが生涯学習に取り組み、仲間をつくり、その成果を活用できる生涯学習のまちづくりを目指します。

また、本構想の推進に当たっては、持続可能な開発目標（SDGs）※の生涯学習の推進を基本的な視点として取り組みます。

（SDGsのロゴを掲載）

※持続可能な開発目標（SDGs）は、2015年9月に国連で採択された17の国際目標で、2030年までに持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指しています。目標4「質の高い教育をみんなに」は、全ての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進することを目指しています。

(3) 基本施策の柱

(参考) 第2次構想の基本施策の柱

施策の柱1 あらゆる学習機能の活性化

施策の柱2 多様な学習活動の推進

施策の柱3 生涯学習推進体制の充実

(4) 上位計画との関連

~~第3次中野市生涯学習基本構想~~は、本市の最上位計画である「第3次中野市総合計画」
との整合性を図ります。

また、~~全て~~の行政分野を生涯学習の視点から見ていく観点から、「第3次中野市教育大綱」
等各種計画との関連も視野に推進を図ります。